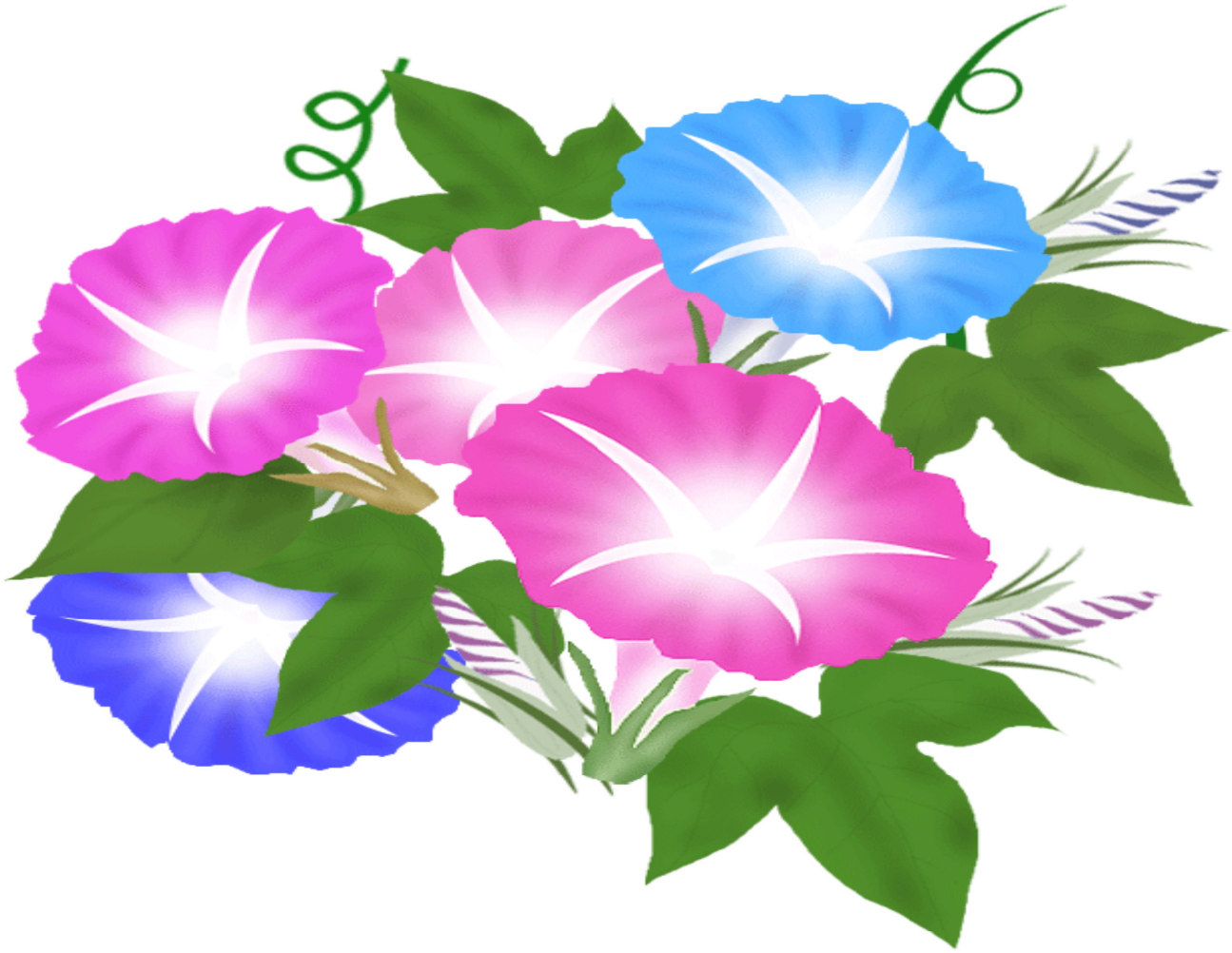
病院機能評価(Ver.5)認定病院

医療法人 社団志仁会　三島中央病院 広報誌
TEL: 055-971-4133
URL: http://www2.ocn.ne.jp/~sijinkai/

三島中央病院だより



2008
Vol.17
夏号

Index

院長挨拶
総合案内の紹介
ドクター紹介
中央材料室・手術室の紹介
ドクターの小話
ＩＣＬＳ講習会
栄養課からの
ワンポイント栄養学
お知らせ
ソフトボール部より
編集後記
外来担当医表
志仁会理念

2008. 7.1 発行

院長挨拶

鈴木 清文 院長

昨年７月の病院名変更と同時に院長職を任され、あっという間に１年が経ってしまいました。 満足の行く舵取りができているとは言えませんが、この1年間を振り返り、今後の方向性を私なりに考えてみました。

当院はベッド数101床と決して大きな病院ではありませんが、患者さんに対する医療や看護など、行う業務一つ一つは大規模病院と同じです。 当院の理念に「急性期医療を基本に据え、地域医療に貢献します」と謳っていますが、急性期医療を実践する上で、最近では社会問題となっている医師不足も大規模病院と同様に無視できません。幸い、この１年間で医師の絶対数は変わらず維持でき、構成としては内科系医師が２人から４人に増えたことで、対応できる救急疾患の幅が広がったように思われます。 具合が悪く病院に来られても、直ぐに診断がつかないことも多く、とりわけ高齢者の方々ではこの傾向が強いようです。 これから更に高齢者の方が増えることを考えると、内科系医師を中心としたのスタッフの充実が必要と考えます。

また、社会的には急性期医療の充実の一方で、急性期を回避させる動きも見られます。 この春からスタートした「特定健診」は主に「メタボリック症候群」から脳梗塞・心筋梗塞などの病気への移行を阻止するためのものです。 まだ病気ではないが、いずれ病気に移行するかもしれない状態からの介入です。 病気の予防には、病気にならないための「初発(１次)予防」と、再び同じ病気にかからないための「再発(２次)予防」があります。 初発を防ぐと同時に、加療中の方は決して「再発」させないという気持で、患者さんと一緒に治療を進めて行きます。

さて、巷では「食の安全」が騒がれていますが、院内においては「医療における安全」へさらに力を注ぐべく、今まで委員会として行ってきた安全への取り組みを、今年５月より、「医療安全対策室」を新たに設置し取り組んで行くことにしました。

以上まとめるとほぼ前年通りですが、急性期医療の担い手である医師・看護師を含む職員の確保と養成を図り、さらに発症予防も考慮した上で他の医療機関との連携を強化して行きたいと考えています。

総合案内の紹介

場所は、病院正面玄関入って右。 受付カウンターの並びにあります。
仕事の内容は、患者さんが受診する科の選択や、問診票記入のお手伝い・車椅子を使用される方へのケア・近隣医療機関の紹介等です。 また、松葉杖の使用、ネックカラー装着の患者さんへのアドバイスや糖尿病等、様々な病気を持った患者さんの生活や悩みに関する医療相談も受けています。

総合案内としての基本は、病院の運営方針や看護部理念に示されている通り、患者さんが安全かつ確実に治療が受けられるよう配慮することです。 その第一歩に位置する私の仕事は、患者さんが気持ちよく受診行動が取れるよう誠意を持って対応することだと思っています。 一人ひとりお顔が違うように、患者さんの考え方や感じ方、皆違います。 受診科の選択においても、よくお話を伺い、話し合いをし、患者さんの納得を得て気持ちよく受診して頂くことが私の理想です。

午前中だけの業務ですが、不在時は看護師が対応致します。 日進月歩の医療の世界において、まだまだ不十分で毎日が反省の日々です。 ご意見を頂くこと、お声をかけてくださることが私の糧となります。 宜しくお願い致します。

総合案内担当看護師　　川島　史子

古賀先生の紹介

古賀 純　先生

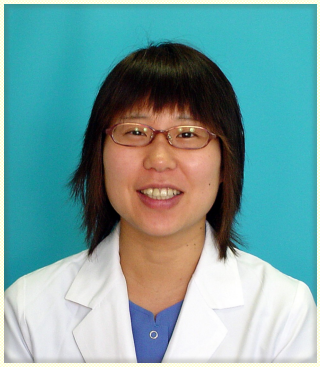
専門分野　　循環器全般　内科全般

学会専門医　・日本循環器学会認定循環器専門医
・日本内科学会認定総合内科専門医
・日本心臓血管内視鏡学会認定医

自己紹介

しばらく非常勤でしたが、この度、常勤で勤務させていただくこととなりました。 専門は循環器ですが、生活習慣病を含めた総合的な内科診療を心掛けております。 動悸・息切れ・胸痛等の症状や、血圧・コレステロール・糖尿病等について御相談頂ければお力になれると思います。 どうぞ宜しくお願い致します。

大島先生の紹介



大島 千枝 先生

専門分野　　整形外科一般

学会専門医　　日本整形外科学会専門医

自己紹介

私は、平成6年 医師となり、昭和大学藤が丘病院整形外科に入局後、民間病院勤務を経て現在に至っています。 整形外科は、骨折をはじめ、頚部痛･腰痛・肩関節痛･膝関節痛などの様々な部位の痛みを取り扱います。 ご高齢者が、転倒された際に生じやすい大腿骨頚部骨折は、骨粗鬆症が原因となって起こります。 外来では、痛みの原因を調べて治療を行うことはもちろんですが、これらの予防にも力を入れています。患者さんにとって最善の医療をご提供できるように努力して参りたいと思っております。　宜しくお願い致します。

※７月７日より整形外科に整形外科顧問として井上幸雄先生が着任致します。
詳細は次号にてご紹介します。

中央材料室・手術室の紹介

みんなでにっこり！？記念写真

中央材料、手術室のスタッフは看護師４名、看護助手２名の計６名で働いています。
中央材料室は、外来、病棟、手術に使用する器械やガーゼ類を滅菌、洗浄したり、物品の保管も行っています。
手術室は３つ部屋があり、耳鼻咽喉科、外科、脳神経外科、整形外科など局所麻酔、全身麻酔などの手術を1ヶ月に約６０件行っています。
手術室内には、血管撮影室があり、脳神経外科、循環器内科が血管撮影検査や血管内手術を行っています。
患者さんが不安なく手術を受け、手術の安全確保できるようスタッフ全員、力を合わせて頑張っています。

中央材料室・手術室スタッフ一同より

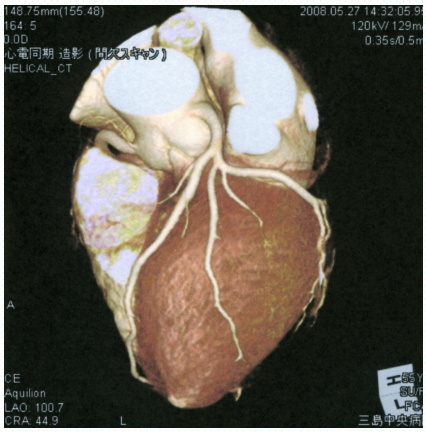
ドクターの小話

最新のCTで狭心症、心筋梗塞の診断が出来るようになりました！！

６月から最新のCT（64列マルチスライスCT）が当院にも導入されました。 このCTが導入されたことによって一番恩恵を受けるのが循環器疾患、特に虚血性心疾患と言われています。

狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患は、年々増加傾向にあり本邦の死亡原因の第2位となっています。 また突然死の原因のなかには心筋梗塞によるものが多く含まれていると考えられています。虚血性心疾患は心臓を栄養している冠動脈が動脈硬化性変化で狭窄、閉塞することによって起こります。 そして動脈硬化は喫煙や肥満、ストレスなどの生活習慣、高血圧、脂質異常症（高脂血症）、糖尿病、高尿酸血症などの生活習慣病などのリスクファクターが多ければ多いほど進展します。

虚血性心疾患を評価する方法として、今までは入院して手首、肘、足の付け根の動脈から心臓までカテーテルを挿入し検査していましたが、この度当院に導入された最新のCTを使用することによって、この冠動脈を簡単に描出することが出来ます。 実際の撮影時間はわずか6～7秒程で、検査室に入ってから検査終了して出るまで約15分で終了しますので入院する必要もありません。 また、肘の静脈から造影剤を投与するだけですので出血のリスクも非常に少なくなっています。



本検査により簡単に冠動脈の狭窄を見つけることが出来るようになり、心筋梗塞や突然死を未然に防ぐことが出来ると思われます。
心臓に不安のある方、いままで心臓カテーテル検査を受けたほうが良いと言われていたがためらわれていた方、リスクファクターを多くお持ちの方はどうぞお気軽に循環器内科までご相談下さい。

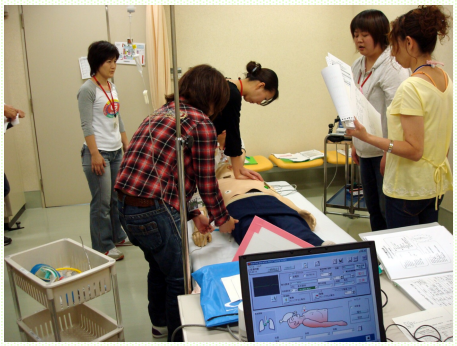
三島中央病院　循環器内科　伊藤高史

※この6月より再び循環器科待機に参入いたしました。 地域社会に、よりいっそう貢献できるよう努力をしていきます。 皆様よろしくお願いします。

2008.5.18 院内ＩＣＬＳ★講習会が当院で開かれました！

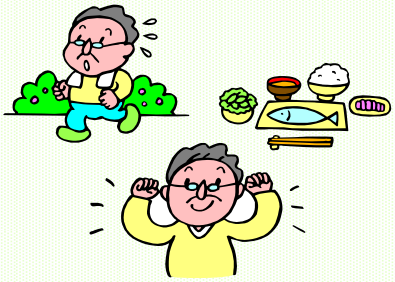
日本救急医学会認定のICLS講習会（第14回TSA主催）が、三島地区で初めて当院で開かれました。ICLSとは突然の心肺停止などに対する緊急処置のことです。 今回の受講者は全員が看護師さんで、講義に加え、実習が病院内で行なわれたため、臨場感あふれる充実した講習会となりました。 講師スタッフとして御協力いただいた医師、看護師および救急隊員の方々の中には、遠方から来てくださった方々もおられました。 ありがとうございました。

（内科 菊地 記）



★ＩＣＬＳ：Immediate Cardiac Life Support(突然の心停止に対する医療従事者による処置)

栄養課からのワンポイント栄養学



真夏の血液さらさら食生活

糖尿病、動脈硬化、脂質異常症・・・。
生活習慣病と血液の状態は密接にむすびついています。どろどろ血液は「気をつけないといけないよ」という病気のサインなのです。この血液をサラサラにするための食事を紹介します。

オ　**お茶**　カテキンに抗酸化作用があり、コレステロールもさげる作用があります

サ　**魚**　いわしさばなど青背魚に含まれるＤＨＡはさらさらに、ＩＰＡは赤血球の膜をしなやかに、またけ血小板の凝集を抑える物質を生成します

カ　**海藻**　新陳代謝を活発にしまた、ぬめりが血糖値の上昇を防ぎ、コレステロールを低下作用があります

ナ　**納豆**　血栓を溶かす作用があります。血栓は夜にできやすいので夕食に食べるのが、おすすめです

ス　**酢**　酢酸やクエン酸が赤血球の膜をしなやかにし、変形能力をたかめます。特に黒酢はアミノ酸やミネラルを多くふくみます。

キ　**きのこ**　きのこに含まれるβ－グルカンという多糖類がコレステロールや血糖値を下げ、さらに免疫力を活性化させる働きもあろます

ヤ　**野菜**　食物繊維、ビタミン類が豊富です

ネ　**ネギ類**　ねぎやたまねぎ、にんにくもふくみます。ツンとくるにおいの元であるアリシンには、血小板の凝集を抑える効果があります

どろどろ度改善の出発点は食生活の見直しから。摂取エネルギーを制限し、運動をし、毎日の食事に**「オサカネスキヤネ」**食品を組み入れてみてくださいたとえば･････
アジのソテーマリネ・海藻チヂミ・ひじきとじゃがいものポテトサラダ・きのこのカレー、ねぎやきそばなどです

お知らせ

‘０８　第５回　夏のイベント・健康教室　開催のお知らせ

開催日時　　7月26日（土）　14：00～16：00

落　　語　　入船亭（いりふねてい）　扇遊（せんゆう）　14:00～15:00

本名　　岩田　茂
生年月日　　１９５３年７月５日
出身地　　静岡県熱海市

健康教室　伊藤　高史（循環器内科）　15:00～16:00

『64列 マルチスライスＣＴを用いた心臓検査の最前線』
～ 当院における運用法の紹介

‘０８　防災訓練（トリアージ訓練）　９月実施予定

Ｈ２０年度日本女子ソフトボールリーグ２部　試合結果

日本リーグ第１節（静岡県新居町）試合結果
＜日程＞４月２５日～２７日
２５日　VS 平林金属　　２対３
２６日　VS 東芝北九州　３対１
　　VS 伊予銀行　　２対１０
２７日　VS 三洋島根　　１対２

日本リーグ第２節（岡山県新見市）試合結果
＜日程＞５月１６日～１８日
１６日　VS 日本精工　　１対０
　　VS 甲賀医療専門学校　８対７（延長１０回）
１７日　VS NECアクセステクニカ　６対０
　　☆鈴木碧投手、初ノーヒットノーラン
　　☆山﨑由利選手、第１号ソロホームラン
１８日　VS 静甲　　３対１

日本リーグ第３節（栃木県那須町）試合結果
＜日程＞６月６日～８日
　６日　VS 松下電工津　１対２
　７日　VS 東海理化　　２対１（延長１１回）
　８日　VS 日本ウェルネス専門学校　５対０

鈴木投手（左手前　３Ｆ看護師）
佐藤内野手（右奥　外来看護助手）

三盗を行なう村田外野手（３Ｆ　看護助手）
結果は見事にセーフ！！

前半戦が終了し、７勝４敗です。後半戦は、９月・１０月にあります。
残りの試合に向け、もう一度気を引き締めて頑張っていきたいと思います。引き続き温かいご声援、よろしくお願い致します。

後半戦も応援よろしくお願いします！！

編集後記

三島中央病院が誕生し、一年が経ちました。 名前は、もうなじんでいただけてますでしょうか？ また、広報誌が誕生して5年目を迎えました。 発行して瞬く間に?無くなっていくのを見ると、何故か嬉しくもなります。 ただ、内容をもっともっと充実させなくてはいけないのに･･･と思ってはいるものの、なかなかうまくいきません。 皆様のご意見等お待ちしております。 何なりとお申し付け下さい。 暑い夏を迎えますが、お身体には充分お気をつけ下さい。

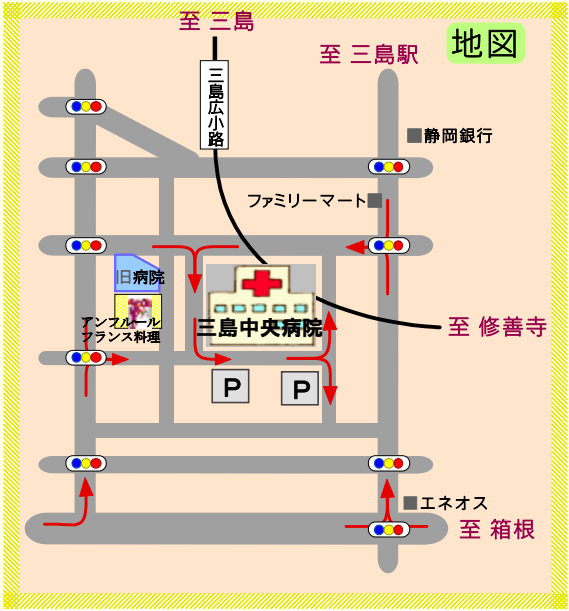
広報委員一同

アクセス

静岡県三島市緑町１－３

■ JR東海道線・新幹線三島駅より車で５分
■ 伊豆箱根鉄道（三島駅でJR線から乗り換え）
三島広小路駅下車徒歩１分

TEL：055-971-4133
FAX：055-972-9188
URL：http://www2.ocn.ne.jp/~sijinkai/



診療時間

	月曜日～金曜日	土曜日	日曜日・祝日
午前	9：00 ～ 12：00	9：00 ～ 12：00	休　診
午後	15：00 ～ 18：00	14：00 ～ 16：00	休　診

※ 学会・緊急手術のため
担当医・診療時間が変更
となる場合があります

外来担当医表

2008．7．7　現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
【内　科】 部長：菊地 宏久 【循環器内科】 部長：鈴木 清文	午前	鈴木（循内） 伊藤（循内）	鈴木（循内） 古賀（循内）	青山（内） 高山（循内）	菊地（内） 鈴木（循内）	柳町（内） 伊藤（循内）	石黒（内） 鈴木（循内）
	午後	菊地（内）	鈴木（循・内）	高山（循内） 青山（内） ※（１７時迄）	健診（予約制） 循環器検査 （予約制）	柳町（内） 古賀（循内）	石黒（内） 循環器検査 （予約制）
	※午後の初診受付は１７時３０分までとなります。 ※予約診療を基本としております。初診での予約は電話にて承ります。 予約外でお越しの方はお待たせすることがございますが、ご了承ください。						
【外　科】 【消化器外科】 部長：水崎 馨	午前	水　崎	斉　藤	水　崎	斉　藤	斉　藤	水　崎
	午後	手　術	手　術	検　査	検　査	検　査	検　査
【整形外科】	午前	大　島 井　上	大　島	穴　吹	井　上	大　島 井　上	土田（12時迄） 大島（11時迄）
	午後	井　上	検　査	休　診	井　上	井　上	休　診
	※井上医師の午後の診療は５時までとなります。 ※穴吹医師の診療は全て予約制となります。予約は整形外来にて承ります。 ※土曜日の土田医師の診療は１２時まで・大島医師の診療は１１時までとなります。午後は休診です。						
【脳神経外科】 部長：中川 修	午前	中　川	吉　野	中　川	吉　野	中　川	中　川
	午後	▲中　川	吉　野	▲中　川	▲吉　野	▲中　川	▲中　川
	▲印・・・初診と救急の患者様のみの対応とさせていただきます						
【耳鼻咽喉科】 部長：立松 正規	午前	関・石田	関	関・立松	石　田	関・石田	関・立松・石田
	午後	関・石田	立　松	関・立松	石田/立松	関・石田	立松・石田
	※木曜日午後は手術のため担当医師が変更になる場合があります。 ※金曜日の午後の診療は石田医師のみの場合があります。						

当院は、２４時間救急体制をとっています

志仁会理念	当法人は急性期医療・介護サービスを中心に個々のケースに適応できる医療を目指します また、地域の医師との連携を強め地域に密着した医療を推進します
病院理念	急性期医療を基本に据え、地域医療に貢献します
病院運営方針	1. 患者さんの権利を十分尊重し、心のこもった安全な医療を実践します 2. 親切・丁寧・確実な医療を提供します 3. 地域に開かれ貢献できる医療を目指します 4. 情報提供に基づき、十分な説明と同意による医療を心がけます 5. 職員が地域医療に貢献していることに誇りをもてる医療を実践します
看護部理念	三島中央病院の看護職員は、患者さんが安全かつ確実に治療が受けられ、自然治癒力が十分に働くように最良の条件を作り出すように援助します。又、地域の健康への期待と治療の発展に寄与できる専門職としての看護実践を目指します。 看護の基本方針 1. 私達は、患者さんの安全を守るためのルールを遵守し、医療チームの一員として協働します 2 .私達は、「KOM理論」を基に患者さんの生活を創造的且つ健康的に整え、患者さんの「持てる力」が十分発揮できるように生活過程を整えます 3. 私達は、患者さん・ご家族の痛み・辛さ・心配や不安を表出せる環境作りとそれを軽減するための努力を惜しみません 4. 私達は、患者さん・ご家族の疑問点等に対して、理解して頂ける言葉で丁寧に説明する努力をします 5. 私達は、患者さん・ご家族に「第一級の看護」が贈れるよう、常に謙虚に自己研鑽します

患者さんとのパートナーシップを強化するために	医療の質と患者さんの安全確保は、医療提供者のみによる取り組みだけでなく、患者さんと医療提供者とが互いの信頼関係に基づき協働して作り上げていくものであり、患者さんの医療への主体的な参加をもって、より確実なものとなると考えています。 当院では、”良質な医療を受ける権利”“医療に関する説明や情報を得る権利”など医療者として十分守るべき「患者さんの権利」を明示すると共に、”自分自身の健康・生命を守る最高の担い手は患者さんです”という考えのもと「患者さんへのお願い」を提示させていただきました。わからないことがあれば納得するまで質問してください。安全確保のためにアレルギー歴などをきちんとお伝え下さい。いろいろな場所で名前を名乗っていただいたり、点滴の確認をしていただくなどの形で診療に参加していただきます。 お困りの点、お気づきの点などありましたら担当看護師等にお申し付け下さい。投書をいただいても結構です。是非、より良いパートナーシップを築いていきたいと思います。
患者さんの権利	当院は、医療の中心はあくまでも患者さんであることを深く認識し、「患者の権利に関するWMAリスボン宣言（世界医師会）」の精神のもと、患者さんの権利を十分守り最良の医療を提供いたします。 1. 良質な医療を公平に受ける権利 だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質かつ適切な医療を公平に受ける権利があります。 2. 医療に関する説明や情報を得る権利 病気・検査・治療・見通しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。また、自分の診療記録の開示を求める権利があります。 3. 医療を自己決定する権利 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。 4. 機密保持に関する権利 医療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。 5. 尊厳を保つ権利 だれもが一人の人間として、いかなる状態にあっても、その人格・価値観などを尊重される権利があります。
患者さんへのお願い	当院は、医療における医師及び医療従事者と患者さんの信頼関係が築けるよう患者さんにも協力をお願いしています。 1. 自分自身の健康・生命を守る最高の担い手は患者さんです。その患者さんと共に私たちは医療を進めていることをご理解下さい。 2. 良質な医療を実現するために、医師をはじめとする医療従事者に対し、患者さん自身の健康に関する情報を出来るだけ正確にお伝え下さい。 3. 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明が良く理解できない場合は納得できるまでお尋ね下さい。 4. 医療の安全性を保ち、他の患者さんの安寧を損なわないように定められた規則をお守り下さい。 5. 医療の安全性を高めるための努力を最大限に行っていますが、あらゆる医療行為は本質的に不確実であり、意図せざる結果を生じる可能性があることをご理解ください。